

第2回日台原子力専門家会合(第30回日台原子力セミナー)

プログラム(案)

日程:2017年7月18日(火)[1日間]

会場:都市センターホテル 5階 オリオンの間
 (東京都千代田区平河町2丁目4番1号)
 ※夕方、レセプションを開催(於 同ホテル 6階 601)

主催:日本側:(一社)日本原子力産業協会
 [協賛] 原子力デコミッションング研究会
 台湾側:中華核能学会

参加予定

台湾側:原子力委員会、台湾電力、核能研究所、中華核能学会、関係企業など約30名
 日本側:当協会会員(電気事業者、原子炉・機器メーカー、研究所、原子力関連サービス企業など)

時間	発表内容
08:30-09:00	受付
09:00-09:20	開会挨拶 (日)日本原子力産業協会(JAIF) 高橋明男 理事長 (台)中華核能学会(CHNS) 潘欽 理事長 (日)来賓挨拶 原子力デコミッションング研究会(ANDES)
09:20-10:10	基調講演 (25分×2) (日)日本における原子力発電/バックエンド事業の現状について(仮題): 電気事業連合会 原子力部 大森 武 部部長 (台)台湾電力における原子力バックエンド事業の現状について: 台湾電力(株) バックエンド運営部 技術分析課 陳有賢 課長
10:10-10:35	休憩&日本企業紹介・参加者交流
10:35-12:05	セッションI: 原子力施設の廃炉 ①廃炉の実績と今後に向けた準備 (30分×3、Q&A含む) テーマ 1(台):TRR 研究用原子炉及び台湾第一・第二原発の廃炉の現状: 核能研究所 エンジニアリング部 李振弘 副部長 テーマ 2(日):敦賀発電所1号機の廃炉に向けた準備について: 日本原子力発電(株) 廃止措置プロジェクト推進室 苅込 敏 調査役 テーマ 3(日):美浜1・2号機の廃炉に向けた準備について: 関西電力(株) 原子力事業本部 廃止措置技術センター 廃止措置計画 G 伊阪 啓 チーフマネジャー
12:05-13:20	昼食会&日本企業紹介・参加者交流

13:20-14:45	<p>セッション I: ②廃止措置・機器解体の実施 (30分x2、Q&A 含む)</p> <p>テーマ 4(日): ふげん原子力発電所の廃止措置の現状と技術開発について: 日本原子力研究開発機構 JAEA BE 研究開発部門 原子炉廃止措置研究開発センター(ふげん) 井口 幸弘 副所長</p> <p>テーマ 5(台): 台湾原発における原子炉圧力容器及び炉内構造物の解体プロジェクト: 核能研究所 バックエンド研究センター 楊慶威 副センター長</p> <p>セッション1 総合討論 (25分)</p>
14:45-16:15	<p>セッション II: 廃炉に伴う諸課題、技術研究・開発</p> <p>①廃棄物の処理処分 (30分x3、Q&A 含む)</p> <p>テーマ 6(台): 台湾原発における廃炉及び廃棄物管理: 核能研究所 化学エンジニアリング部 蕭憲明 副研究員</p> <p>テーマ 7(日): 廃炉に伴う解体廃棄物の処理処分の考え方: 原子力バックエンド推進センター(RANDEC) 澁谷 進 専務理事・廃棄物処理 事業推進部長</p> <p>テーマ 8(台): 台湾第一・第二原発廃炉に向けた放射線特性調査及び廃棄物インベントリ: 核能研究所 保健物理部 陳章新 助理研究員</p>
16:15-16:40	<p>休憩&日本企業紹介・参加者交流</p>
16:40-18:05	<p>セッション II: ②放射能・除染関連 (30分x2、Q&A 含む)</p> <p>テーマ 9(台): 原子炉圧力容器における3次元中性子フルエンス測定方法に対する 比較研究: 清華大学 原子力エンジニアリング・科学大学院 許榮鈞 院長</p> <p>テーマ 10(台): 放射能汚染施設の撤去に係る実務経験: 清華大学 原子力科学技術開発センター 劉鴻鳴 副センター長</p> <p>セッション2 総合討論 (25分)</p>
18:05-18:15	<p>閉会挨拶</p> <p>(台)中華核能学会(CHNS) 潘欽 理事長</p> <p>(日)日本原子力産業協会(JAIF) 高橋 明男 理事長</p>
18:30-20:00	<p>夕食会・日本企業交流会</p>